

け替えました。

始めはすっかり草の中に埋もれていた苗木も顔を出し、作業を終えたスカウトたちの満足そうな表情を見ることができました。

また八月六日(金)から七日(土)にかけて、日本のガールスカウト運動九十周年記念戸隠インターナショナルキャンプ参加者(十三万国)の内の二十五名が、同国有林内の「ガールスカウト第一の森」で間伐作業を行いました。

この森は、平成元年にガールスカウト長野県支部が、「森の管理を通じて環境について考え、勤労の大切さを知る」ことを目的に設定し、ブナ等の広葉樹を植栽後、下刈、枝払い等の手入れを続けてきました。海外や日本各地から集ったスカウトたちは、慣れない手つきで、鋸を使ってブナを伐り倒す作業(間伐)を体験しました。スカウトたちは、作業が進むにつれて混み合ったブナの森に太陽の光が差し込む様子を見て、間伐の効果を実感していました。

その後、伐採したブナを用いて鉛筆立てなどを作成し、各々が良い土産として持ち帰っていました。

戸隠の森で開催された両プログラムを通じて、「自然をより深く知り、気付きや学びを得ることができた」というお礼の言葉が届けられました。

ボランティアと連携して 乗鞍岳山麓で外来植物 「セイヨウタンポポ」を除去

〔中信署〕

当署では、地域発案により、乗鞍岳のエコライン沿いでセイヨウタンポポの除去作業を実施しています。

今年度は、七月二十一日(水)に長野長生会松本支部九名、八月十一日(水)には、募集により参加した松本市の小学生を始め一般参加者十四名、長野県自然保護レンジャー二名、両日ともグリーンサポータースタッフ、職員も加わり総勢四十三名の参加となりました。

両日とも天候に恵まれ、道路脇に黄色く咲いているセイヨウタンポポの見分け方の指導を受けた後、四班に分かれ距離五キロの間において、約七百本のセイヨウタンポポを除去しました。



除去作業に一生懸命の小学生

セイヨウタンポポは、アルカリ性に強く、単為生殖により増え、日照時間に左右されずに通年開花し、種子も小さいことから繁殖力が強く、ニホンタンポポを始めとする乗鞍山麓の貴重な高山植物の脅威になっていることから、ボランティアによる除去作業を毎年行い、少しずつ成果が出て来ているところです。今後は、ハルザキヤマガラシ、シロツメクサ、フランスギク、アラゲハンゴンソウ、ブタナ等の外来植物の除去も検討し、高山植物の保護に更に取り組んでまいります。

天牛県立自然公園内の 危険木伐倒除去作業

〔名古屋造林素材生産事業協会〕

〔飛騨署〕 八月二十一日(土)、名古屋造林素材生産事業協会の飛騨支部会員十一名が「天牛県立自然公園」内の自然観察歩道沿いの枯損木の伐倒除去・整備をボランティア作業で行いました。

天牛一帯は、高層湿原やブナの原生林など豊かな自然が残ることから入林者が年々増加しています。歩道沿いには老朽して枯死した大径木が立っており、安全な通行のためこれらを除去して欲しいとの地元協議会等からの要請に、大径木伐採の技術を持つ造林素材協会が応えたものです。

当日は下界の猛暑とは別世界の涼風を期待したものの、全員、汗だくでの危険



暑い中での危険木伐倒除去作業

木の伐倒除去作業となりましたが、登山者からは、「暑い中、大変ご苦勞様です。」との労いの言葉を頂く度に、全員晴れやかな気持ちになるなど、登山者の安心・安全の確保と地域に貢献する良い機会となりました。

「じょうこうじ響きの森」に住む 野鳥を学び巣箱作りを体験しよう

〔生物多様性(森林と野鳥)〕

〔名古屋事務所〕 九月四日(土)、平成二十二年度「第三回森林ふれあい講座」



話に聞き入る参加者



完成した巣箱を手に参加者全員で記念撮影

を瀬戸市の森林交流館で開催しました。当日は九月とは思えないほどの暑さでしたが、四組の親子連れを含む十二名の参加がありました。

初めに尾張自然観察会の先生から、定光寺自然休養林で見られる野鳥の生態や巣の作り方のお話を聞きました。参加者は野鳥の生態のおもしろさに真剣に聞き入っていました。

その後、事務所職員の指導のもと、スギの間伐材を使い小鳥の巣箱作りを行いました。

巣箱作りでは、普段使ったことのない「のこぎり」や「金槌」を一生懸命に使いこなし小鳥の巣箱を見事に完成させていました。



御代田班の皆さん

御代田班は、浅間山を囲む軽井沢・御代田・小諸の三森林事務所を受け持ち、現在、基職二名と臨時作業員で作業にあっています。

浅間山のなだらかな裾野は観光地としてリゾート開発が進んでいることから、国有地に接する箇所は、別荘地・住宅

シリーズ 現場最前線

チームワーク良く業務を 東信森林管理署 御代田作業班

参加者からは「スズメも入りますか？」などの質問の外、「小鳥が入るのが楽しみ」などの質問や感想が寄せられました。

- ◎ 国有林野事業労働衛生週間
10月1～7日
- ◎ ボランティア会議
10月1～2日 松本市
- ◎ 名古屋シティフォレスト事業
10月2日 愛知所管内
10月14日 愛知所管内
- ◎ 事業担当部長会議
10月4～5日 林野庁

人事・労務課のみなさん

地・道路がほとんどで、境界巡検の距離も長く、境界管理には気を遣っています。隣接住宅等へ危険を及ぼす恐れのある場合など、緊急に対応しなければならぬ時が多々あり、そのような場合、最優先で作業にあたっています。特に、平成十九年の台風9号の災害の際には、過去の台風災害の経験を活かし、被害対策に全力で取り組みました。

御代田班はチームワークが良く、忙しい時でも、「やると決めた仕事はきちんとやる」という強い意識の下で、安全に段取りよく作業を進めています。夕方、事務所に疲れた様子で帰って来ますが、その中にもすがすがしい顔が垣間見られます。今後も、頼りになる御代田班と共に安全に効率よく業務に取り組んでいきたいと思っています。

- ◎ 金曜会国有林視察
10月4日 東信署管内
- ◎ 第3回王滝森林鉄道
フェスティバル2010
10月9～10日 王滝村
- ◎ 低コスト路網等現地検討会
10月12～13日 中信署管内

人のうごき

- 林野庁人事(抄) 九月一日付
- ▽ 中部森林管理局企画調整室監査官(名古屋事務所副所長)(中部森林管理局木曾森林管理署南木曾支署長)
 - 廣田 祐一
 - ▽ 中部森林管理局木曾森林管理署南木曾支署長(中部森林管理局富山森林管理署次長)
 - 相馬 一之
 - ▽ 中部森林管理局富山森林管理署次長(中部森林管理局東濃森林管理署総務課長)
 - 長瀬 貢
 - 中部森林管理局人事 九月一日付
 - ▽ 東濃森林管理署総務課長(計画部計画課付(名古屋事務所))
 - 那須 正彦
 - ▽ 企画調整室付(企画調整室監査係長)
 - 井上日呂登
 - ▽ 木曾森林管理署笹川森林事務所森林官(企画調整室情報管理係長)
 - 彦瀬 卓也



旧中山道 (妻籠宿・馬籠宿)

〔南木曾支署〕 長野県南木曾谷の南部に位置する木曾郡南木曾町と岐阜県中津川市を結ぶ旧中山道(妻籠宿・馬籠宿)沿いの町指定名勝が男滝・女滝です。

旧中山道は江戸を起点とする五街道の一つで、江戸から京都を結ぶ重要な街道でした。

名称の由来は、日本国土の中間の山道ということで中仙道とも記されましたが一七一六年、徳川幕府は中山道と名称を統一したと言われています。

妻籠から馬籠に至る七ツ目の街道は、家族連れでも気軽に歩けるハイキングコースとして人気があり、最近では外国人旅行者にも広く知られ訪れる者が増えています。

江戸時代からの日本情緒を残し、その魅力は旧街道にある「男滝・女滝」や背景となっている樹齢百年の木曾ヒノキなどの美林にあります。特に木曾に街道が

開かれて以来、旅人に名所として親しまれ、憩いの場であったと伝えられている「男滝・女滝」は、吉川英治氏の著書「宮本武蔵」の舞台にもとりあげられています。

滝に向かって左側が男滝で落差十メートルの滝幅の広い滝です。

右側が女滝で女らしくやや線の細い滝です。

また、南木曾町妻籠宿から馬籠峠に至る旧中山道沿いは、木曾ヒノキ、サワラ、ヒバなどの天然の林があり、この一帯の国有林は、国の重要伝統的建造物群落保存地区及び県の郷土環境保全地区に指定され、自然探勝、憩いの場として、レクリエーションの森(風致探勝林七十四ヶ)に選定されています。

◆アクセス

(所在地)

長野県木曾郡南木曾町大妻籠

○車でお越しの場合

中央自動車道

中津川ICを降り、国道十九号線を南

木曾町方面へ三十分

長野自動車道

塩尻ICを降り、国道十九号線を南木

曾町方面へ二時間

○公共交通機関をご利用の場合

JR中央西線南木曾駅で下車し、バスまたはタクシーで十五分



男滝



女滝



眼下の妻籠宿と馬籠峠方面を望む (妻籠城跡より)



妻籠宿と背景林の伊勢山 (国有林)



観光客で賑わう妻籠宿